

小学校社会科教科書の語彙調査

—小学校で学習する語彙の特徴の抽出に向けて—

山本裕子 ・ 川村よし子 ・ 鷲見幸美
(愛知淑徳大学) (元東京国際大学) (名古屋大学)

1. はじめに

大きな目標：教科書語彙の特徴を踏まえた外国人児童のための日本語支援環境を提供すること
本発表では：社会科の教科書を対象に、特に全学年共通の語彙に着目して、語彙の特徴を調査、分析した結果を報告する

2. 先行研究

田中他 (2011) ・ 深谷 (2020) ・ 田中 (2020) ・ 河内 (2020,2021) など
・ 教科書の出版年：2003~2007年の教科書、あるいは2014・2015年の教科書が対象
・ 分析方法：異なる「語」の切り出し方が、研究によって異なる
→ 新しい教科書を対象として、他と比較可能な方法で解析・語の切り出しをする

課題1 社会科教科書語彙の概要 (全体数・学年グループごとの語数) はどのようなものか。

課題2 低学年・中学年・高学年それぞれで用いられている語彙の特徴はどのようなものか。

3. 研究方法

調査対象：愛知県尾張地区で使用されている (生活科を含む) 社会科の教科書、1年生~6年生までの計7冊 (6年は2種類) の本文の部分 (目次・索引等を除く)

調査方法：教科書をテキストデータ化し、MeCab+Unidicを利用して形態素解析にかけ、「語」を抽出。意味を考慮し、重なりと異なりを調整してリスト化した。

4. 結果

課題1：全体の延べ語数133,185語、異なり語数8,321語

	名詞	動詞	形容詞	形容動詞	副詞	連体詞	接続詞	接辞	代名詞	感動詞	計
低学年	332 (74.8)	54 (12.2)	4 (0.9)	8 (1.8)	28 (6.3)	1 (0.2)	0 (0.0)	5 (1.1)	1 (0.2)	11 (2.5)	444
中学年	743 (86.7)	78 (9.1)	4 (0.5)	4 (0.5)	9 (1.1)	0 (0.0)	1 (0.1)	16 (1.9)	0 (0.0)	2 (0.2)	857
高学年	3785 (83.8)	451 (10.0)	31 (0.7)	63 (1.4)	43 (1.0)	2 (0.04)	4 (0.1)	132 (2.9)	4 (0.1)	0 (0.0)	4515

*原則として短単位を「語」としたが、必要に応じて、まとまりで一語と見なして強制的に切り出せるようにした。
例：バーコード・白地図

課題2：

低学年の高頻度語

中学年の高頻度語

高学年の高頻度語

名詞：うがい・図鑑・探検・ダンゴムシ・葉っぱ・ゴム・栗・ゴルフ
動詞：ためす・まく・つかまえる・たたむ・飛ぶ・くつつく・濡らす・空く・降りる・片付ける
→ 動植物・生活に関わる語が多い
副詞：ときどき・わくわく・きらきら
→ 擬音語・擬態語

名詞：あまおう・松島・通潤 (橋)・火事・明石・雄勝・豊米 (町)・硯・浄水 (場)・ (布田) 保之助
→ トピックに依存
動詞：燃える・吹き上がる・漏れる・汲む・直す・出せる・焼き上げる・盛り上げる・積み上げる・知らせ合う・摘み取る
→ 複合動詞が多い
副詞：たまに・まっすぐ・せっかく・まだまだ
→ 擬音語・擬態語ではない

名詞：国民・幕府・憲法・天皇・平和・国会・貿易・戦い・裁判・大陸
→ 歴史・政治に関する「社会らしい語」が多い。頻度1の語も44.8%
動詞：戦う・納める・生きる・もたらす・おく・整える・訴えるなど → 高頻度「～上げる」「～出す」の他、「語り継ぐ」「取りまとめる」「重んずる」「任ずる」
→ 複合動詞が多く、文語など、複雑で、高難度の語
副詞：ほぼ・大いに・改めて・ますます
→ 書きことば中心

5. おわりに

問題点①どのように「語」を切り出すか。

例：「交通」or「交通安全」「交通違反」「交通機関」

問題点②どのように「学習に必要な語」を判断するか。

例：中学年はトピックへの依存度が高い。

→ 他教科も含めた分析が必要

付記：本研究はJSPS科研費21K00635の助成を受けています。